

# 自治会報

# さがみはら

No.50

平成19年(2007)3月発行  
発行部数 18万部

発行 相模原市自治会連合会

題字 相模原市長 小川 勇夫



古紙配合率100%再生紙を使用しています

つくりだそう自治の力で明るいまちを

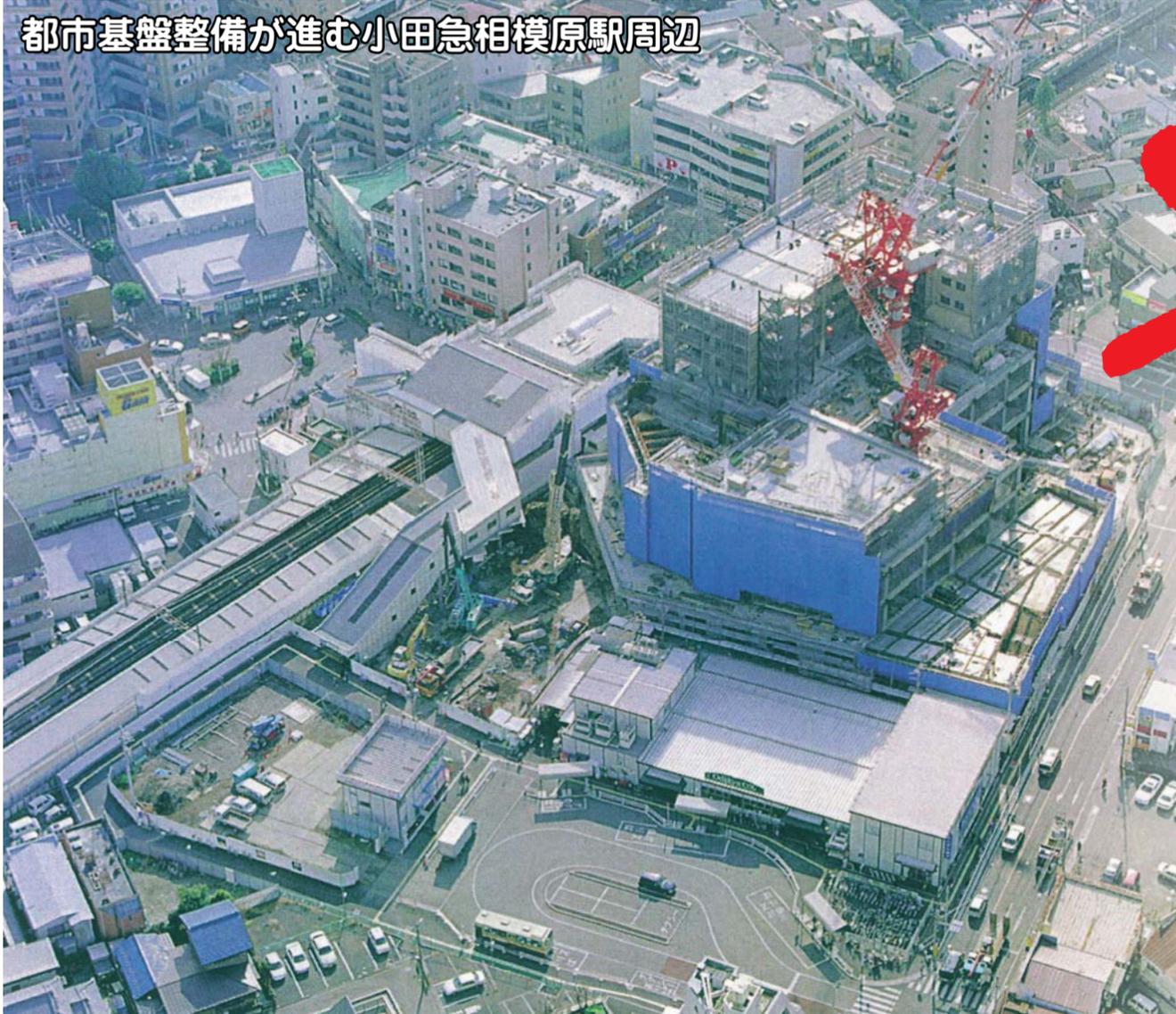
相模原市自治会連合会の現況

地区自治会連合会数	18
自治会数	432
加入世帯数	159,541世帯
班(組)数	10,564

H.18.4.1現在

事務局 〒229-0036 相模原市富士見6-6-23けやき会館内 TEL.042-753-3419 ●〒229-8611 相模原市中央2-11-15相模原市役所 市民生活課内 TEL.042-769-8226

## 都市基盤整備が進む小田急相模原駅周辺



市長、市議会議員に  
政令指定都市への移行早期実現を要望

# 新相模原市

相模原市は、本年3月11日の城山町、藤野町との合併により、総面積約329平方キロメートル、人口70万人を超える全国でも有数の都市となります。

相模原市自治会連合会では、この合併を自然と産業が調和した活力ある都市づくりを一層進める契機と捉え、本市の更なる発展のためには、政令指定都市への早期移行の必要があると考えました。

そこで、政令指定都市への移行早期実現の要望書等の提出についての決議を理事会で行い、相模原市長に対する要望書と市議会議員に対する陳情書を、12月22日に提出しました。  
(要望書の内容は3面に)



要望書を、三橋会長(当時)から市長に手渡しました。



## 都市基盤整備が進む橋本駅周辺

新しい時代をともにひらく 「市政を話し合う会・地域市政懇談会」を開催

各自治会の皆さんは、日頃様々な地域活動をされており、一つの共有する風景を実感できる間柄ともいえると思えます。

自治会活動にはさらに、より広い範囲を視野に入れた活動もあります。それが市・地区自治会連合会の活動です。その活動の一つとして、市行政との懇談の場を設けております。

市政を話し合う会

市自治会連合会では、平成18年度の話し合う会を、平成18年11月15日(水)に開催しました。小川市長、両助役、教育長と17名の地区連会長(理事)が、「米軍基地返還問題」、「津久井地域との合併」や「公共交通」等を

地域市政懇談会

市連加盟の地区自治会連合会では、18地区での「地域市政懇談会」を毎年夏から秋にかけて開催し、各地区自治会連合会単位の課題などについての話し合いが行われております。今年度の地域市政懇談会の地区別議題は次のとおりです。今後、自治会、地区自治会連合会及び市自治会連合会は、それぞれの視点とともに市と手を携えて相模原市発展のためにコミュニケーションづくり・地域づくりに努めてまいります。



平成18年度の相模原市自治会活動功労者感謝状贈呈式が、平成19年2月3日(土)に市民会館で行われました。

これは、心がいよいよ明るいまちづくりを推進するため、地域住民の福祉向上に寄与した方に相模原市が感謝の意を表するもので、今年度、相模原市自治会連合会からは38名、津久井町からは14名、相模湖町からは1名、計53名の方が市長から感謝状の贈呈を受けました。受賞者は次の方々です。(敬称略)

- List of award recipients by region: 中央地区 (小林長二郎, 堀内 欣三), 光が丘地区 (平林 清, 小淵 三郎), 橋本地区 (鳥飼 俊憲, 原 照司), 大野北地区 (小川 海由, 原 照司), 大野南地区 (岡田 実, 大槻 正一), 藤原 (藤原 長俊, 原田 庸男), 板垣 (板垣 昭雄, 大久保幸男), 大野南地区 (格地 悦子, 渡谷 勝由), 多田 (多田 廣司, 松井 敏夫), 伊東 (伊東 正一, 松浦 敏夫), 田名地区 (田名 成男, 松浦 敏夫), 麻溝地区 (和田 隆, 座間 進), 田邊 (田邊 好功, 松上 進), 井上 (井上 善道, 松上 進), 日野 (日野 憲三, 本多 孝), 新磯地区 (吉山 茂利, 本多 孝), 相模台地区 (三上 重二, 小井土義一), 山口 (山口 憲夫, 山本 裕常), 市川 (市川 貴一, 藤沢 圭三), 東林地区 (大久保貞夫, 田村 正道), 津久井地区 (荒井 基安, 丸 紀雄), 佐藤 (佐藤 勝男, 小川 洋一), 小野 (小野 雅之, 井上 紀充), 町田 (町田 昭, 井上 久則), 佐藤 (佐藤 美代治, 加藤 正久), 太田 (太田 勉, 永井 義信), 相模湖地区 (小峰 武, 永井 義信)



平成18年度 地域市政懇談会地区別議題一覧

Table with 3 columns: 地区(開催日), 議題, 名. Lists topics for various regions like 大沢, 大野中, 東林, 相模台, 相模湖, 橋本, 田名, 大野北, 麻溝, 横山.

Table with 3 columns: 地区(開催日), 議題, 名. Lists topics for various regions like 星が丘, 中央, 上溝, 光が丘, 新磯, 清新, 大野南, 小山.

(1面から続く)

# 政令指定都市への移行実現に関する要望書・陳情書を提出

市長に政令指定都市への移行実現に関する要望書を、市議会議員に陳情書を提出しました。市長への要望書は以下のとおりです。

## 相模原市の政令指定都市への移行実現に関する要望書

貴職におかれましては、日ごろより、住民福祉向上のために着実な市政運営に努められ、多大な成果を上げられておりますことに、心より敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。

さて、相模原市は、津久井町、相模湖町、城山町及び藤野町との合併により、面積約329平方キロメートル、人口70万人を超える全国でも有数の大都市となります。

相模原市は、従来から積極的な産業誘致と都市基盤の整備を進めてきた結果、首都圏南西部における主要な広域交流拠点都市に成長いたしました。貴重な水資源と広大な森林を有する津久井地域との合併によって、自然と産業が調和した活力ある都市づくりを進める下地が整うとともに、今後は、さがみ縦貫道路や津久井広域道路の整備により、更なる発展の可能性が高まっております。

また、合併により行政区域が拡大いたしました。地方分権時代にふさわしい新市を創っていくためには、都市内分権を進め、地域に根ざしたきめ細かなまちづくりを進めることが今まで以上に必要になります。

協働と分権により、効率的・効果的な行財政運営を推進するためには、現行の都市制度上、最も多くの権限と財源を持ち、自立したまちづくりを行うことができる政令指定都市への移行が必要であります。

よって、今後、貴職のリーダーシップの下で、政令指定都市への移行が早期に実現できるよう積極的に取り組まれることを強く要望いたします。

平成18年12月22日

相模原市長 小川 勇夫 殿

相模原市自治会連合会

会長 三橋 豊

今回の人物紹介は、東林地区社会福祉協議会会長をされている傍ら、各地の公民館やふるさとまつりなどで落語のボランティアを続けられている小堀富二さんです。

1月15日に小堀さんを訪問しお話を伺いました。落語研究会に入っていた樋口さんに扇子の使い方など、基本的なことを教えてもらいました。また、相模大野銀座商店街振興組合に勤めていた頃、相模大野の八起という焼肉屋で、落語の4派が一同に会する落語会が始まり、よく応援で見に行きました。

落語を始められたきっかけからお聞かせください。妻が民生委員をしていた昭和62年ごろ、民生委員の方々が高齢者を慰安するために落語をやったらどうかと相談しており、私も仲間に入って落語を始めました。芸名は相模亭煙幕(当初は東林亭)と名乗り、右も左も分からない状態だったの

で、当時、市職員で大学時代に落語研究会に入っていた樋口さんに扇子の使い方など、基本的なことを教えてもらいました。また、相模大野銀座商店街振興組合に勤めていた頃、相模大野の八起という焼肉屋で、落語の4派が一同に会する落語会が始まり、よく応援で見に行きました。

「芝浜」「井戸の茶碗」などです。「ガンになって天国へ飛んでいっていいな」なるか知ってる」「解らないな」

「私は煙草吸いで家でプカプカやっています。現在、持ちネタは約20あり、得意なものは「死神」

「ガンになって天国へ飛んでいっていいな」なるか知ってる」「解らないな」

「所属されている相模演芸協会について教えてください。」

現在、男性6名女性3名で腹話術、声帯模写、マジック、紙切りなどをやっております。昨年は各地で40回を超える公演をしました。

全員が揃って舞台上上がるのは、「東林ふるさとまつり」ぐらいで、その他の公演は3〜5人で演じています。私は、昨年内や近隣の公民館の高齢者学級などで12回高座に上がりました。

大正14年生まれの子と云うんだ」

自治会連合会会計等を歴任され、地区防災訓練を初めて実施、東林ふれあいの森の誕生、また年々盛大に行われている東林地区阿波おどりの開催等にも尽力され、さらに平成15年度から東林地区社会福祉協議会会長を務められています。健康の秘訣をお尋ねすると、「特別これといったこともないが、地域の仕事に携わっているのが良いのかな」と話されています。

これからも、「活躍されることをお祈りいたします。」



高座での小堀富二さん

「私は煙草吸いで家でプカプカやっています。現在、持ちネタは約20あり、得意なものは「死神」

「ガンになって天国へ飛んでいっていいな」なるか知ってる」「解らないな」

「私は煙草吸いで家でプカプカやっています。現在、持ちネタは約20あり、得意なものは「死神」

「ガンになって天国へ飛んでいっていいな」なるか知ってる」「解らないな」

「所属されている相模演芸協会について教えてください。」

現在、男性6名女性3名で腹話術、声帯模写、マジック、紙切りなどをやっております。昨年は各地で40回を超える公演をしました。

全員が揃って舞台上上がるのは、「東林ふるさとまつり」ぐらいで、その他の公演は3〜5人で演じています。私は、昨年内や近隣の公民館の高齢者学級などで12回高座に上がりました。

大正14年生まれの子と云うんだ」

自治会連合会会計等を歴任され、地区防災訓練を初めて実施、東林ふれあいの森の誕生、また年々盛大に行われている東林地区阿波おどりの開催等にも尽力され、さらに平成15年度から東林地区社会福祉協議会会長を務められています。健康の秘訣をお尋ねすると、「特別これといったこともないが、地域の仕事に携わっているのが良いのかな」と話されています。

これからも、「活躍されることをお祈りいたします。」

### 人物紹介

## 地道な努力で会員増強を

自治会加入率の減少化傾向に対して、市自治会連合会の組織部会では各自治会での加入促進活動を行うにあたっての参考としていただくような方策の検討を毎年進めております。今年度は、昨年実施した自治会長アンケートの結果をもとに検討しているところです。今回は、これまでに方策としてまとめたものをご紹介しますので、今後の活動にお役立てください。

### 自治会加入のしおり・自治会独自の案内パンフレットの配布

未加入世帯の人と直接面談することで加入への意向を引き出す。

意義

役員自身が加入促進についての理解と関心を持ち、足を運ぶ。

自治会活動のメリット(地域コミュニティの活性化、防犯や防災面など家族や自身の安心・安全に直結した活動であること)を十分に説明する。

方法等

### マンション建設段階での加入案内

マンション入居にあたっての事前説明時等に依頼がされるので、加入への心理的なハードルを下げられる。

意義

マンション建設に先立って行われる地元説明会を通じて自治会加入への依頼を行う。

更に建築主等が加入依頼を行うことを、建築に関する協定書・覚書等に記載してもらう。

方法等

### アパート・マンションの一括加入の働きかけ

アパート等の入居状況にかかわらず、自治会への加入自体は担保される。

意義

建設当初の入居者を中心に加入が図られたとしても、転居に伴う新規加入が必ずしも保証されない。このため、管理人(者)との協議・協力依頼のうえ、アパート等の一括加入を働きかける。

方法等

### イベント等への参加呼びかけ

実際に自治会が活動している場面を捉えてアピールし加入を促す。

意義

地域のイベントなどの際、未加入者へも声かけし、イベントへの参加を通じて自治会活動への理解を深めていただき、加入をお願いする。

方法等

### 役員免除などの退会防止策の検討

自治会活動の意義は評価しているも、役員としての活動は困難である高齢者世帯等の退会防止が可能となる。

意義

自治会内での意見統一のうえ、年齢などの一定条件に該当する場合、本人の意向により組・班の中で就任を要請される役割分担を免除する等の規定を規約で定めるなどの対策を実施する。

方法等

## 厚生施設

### 厚生施設に新たな施設が加わります

平成19年4月1日から、次の宿泊施設と新たに割引契約を結びます。自治会員の皆様への特典を用意していますので、ご利用下さい。

契約内容・利用方法等は、3月下旬頃各世帯に配布いたします「ホテル、遊園地等との割引契約のご案内」リーフレットをご覧ください。

- 「真鶴半島 一望閣」(真鶴町)
- 「ウェルネスの森 伊東」(伊東市)
- 「ラビスタ伊豆山」(熱海市)

市自治会連合会では、この他にも多くの宿泊施設、遊園地等との割引契約を結んでおります。

### みんなで作る 楽しい心のふる里

横山地区  
小町通自治会  
会長 遠藤 忠男

私達の自治会は、昭和四十五年に発足しました。当初は世帯数も少なく田舎の様な町でした。三十八年を迎えた現在は急速に世帯数が増加し、四百五十世帯となりました。住所も一丁目と二丁目に分かれています。

さて、自治会の活動についてですが、子供会は夏の七夕飾りづくりや野外映画を行っています。高齢者でつくる「小町交友



### 防災訓練

「自治会の子ども達集まれ！」「交通・防犯パレード」七百名を超える「民踊流し」、各自治会の「模擬店」、まつりの最後を飾る「花火大会」など、地域の底力を感じさせる素晴らしいものでした。

### 交通安全と防犯対策

主要交差点付近で、地区内を走る車や自転車などに、交通安全や安全運転を呼びかける交通安全キャンペーンを実施。また、空襲やひったくり等に用心するよう、各自治会で見回りや声かけ運動などをこまめに展開し、地域が一丸となって犯罪防止に努めています。

### 光が丘の底力

光が丘地区  
自治会連合会  
会長 神澤 松男

光が丘地区自治会連合会の活動を紹介します。光が丘地区自治会連合会の活動を紹介いたします。

### 防犯・防災活動と自治会

大野中地区  
自治会法人大沼自治会  
会長 澁谷 信孝

大沼自治会(約千二百五十世帯)では、防犯・防災活動を自治会の重点項目の第一に掲げ、



### 田名専属の青パトが活躍中です

田名地区  
自治会法人田名清水自治会  
会長 大谷 定雄

田名地区自治会連合会は、十五単位自治会、会員七千五百世帯で構成されています。十五年度から「住みよい田名」を実現するため、「田名のあすを拓く委員会」を設置し研究をすすめています。委員会の下に四分科会を設け、その内の防犯分科会が平成十八年五月より田名地区防犯協会として組織を立ち上げ、犯

防犯・防災部と自主防災隊が中心になって主として以下の活動を行っています。  
(1)防犯灯・消火器の新設・維持管理  
(2)防犯パトロールを毎月一回区長・組長により二〇〇五年九月から実施  
(3)年末特別警戒を暮れに役員・自主防災隊で二日間実施  
(4)双葉小及び大沼小避難所運営協議会への参画、災害弱者支援(自主防災隊)

### 防犯・防災活動と自治会

大野中地区  
自治会法人大沼自治会  
会長 澁谷 信孝

大沼自治会(約千二百五十世帯)では、防犯・防災活動を自治会の重点項目の第一に掲げ、

「光が丘地区ふるさとまつり」は、三十回記念に盛沢山のイベント

### ふるさとまつり

昨年八月に三十回目を迎えた「光が丘地区ふるさとまつり」は、三十回記念に盛沢山のイベント

### 祭りの上溝・本町山車 百年に一度の 平成大修復

上溝地区  
自治会法人本町自治会  
会長 古川 武美

明治四十年八王子・横山町から譲り受けた山車の劣化・損傷が著しく、平成十六年神輿大修復(二十年ぶり)に続き山車の大修復をした。



### 祭りの上溝・本町山車 百年に一度の 平成大修復

上溝地区  
自治会法人本町自治会  
会長 古川 武美

明治四十年八王子・横山町から譲り受けた山車の劣化・損傷が著しく、平成十六年神輿大修復(二十年ぶり)に続き山車の大修復をした。

### 「案内とお願い」

「自治会報 さがみはら」は、皆様の会報です。自治会・地域での様々な活動・話題などの情報やご意見をお寄せください。

### お問い合わせは、

相模原市自治会連合会事務局  
(042-753-3419)  
E-mail:jichien@wine.ocn.jp

### 自治会報 さがみはら

編集委員

- 岸 久夫 吉山 茂利 (新職)
- 坂井 敏克 佐藤 彰夫 (清新)
- 小瀨 三郎 福田 慎一 (大野北)
- 大谷 定雄 内田 由久 (麻溝)
- 櫻井 孝道 (東林)

## むかし 昔 No.38

### 中央地区 青木 守市

矢部第四自治会長

創建は古く、徳川四代将軍家綱の時代、江戸の豪商、相模屋助右工門が農民を糾合し、延宝元年(二六七三年)矢部新田村の開村と鎮守社を創建したと伝えられています。慶応三年に京都の伏見神社より村富稲荷社の神宣を受け、明治六年「村富神社」に改称、現在の

社殿は明治四十二年に再建されたものです。主神の神は宇迦之御魂命で、産業の神、家庭の屋敷神として祀られています。幕末から明治初期の神社の秋祭りには、樹立の間を練り踊る「狂い獅子」が人々に伝承され、いつしか絶

え、名残の獅子頭が三つ古宝として祖神社社殿に保存されています。獅子頭は、十九世紀初頭の代表的な作品、相模原市指定有形民俗文化財で一般公開しています。神儀は、八月の例大祭、初詣元旦祭、二月初午祭、十一月の七五三祝祭など祭礼、祝祭の行事は年々盛大です。広い境内は樹齢百年を越す桜や多くの樹木に囲まれ、本殿、拝殿、幣殿、神楽殿、参集殿の他、社務所、授与品所、獅子堂があります。



村富神社の古事来歴

